



I 自然と人口

項目	データ	全国順位
(面積)		
総面積(北方地域、竹島及び尖閣諸島を含む)	3,797.75km ²	39
総面積1km ² 当たり人口密度	1,913.4人	4
総面積中の可住地面積割合	68.1%	3
自然公園面積	124,582ha	15
林野面積割合	31.9%	44
(気象)		
年平均気温	15.9℃	29
年間降水量	1,301.0mm	40
年間快晴日数(日平均雲量<1.5)	56日	1
(人口・世帯)		
人口	7,266,534人	5
男	3,628,418人	5
女	3,638,116人	5
年少人口割合(0~14歳)	12.6%	24
生産年齢人口割合(15~64歳)	62.5%	4
老年人口割合(65歳以上)	24.8%	42
一般世帯数	2,967,928世帯	5
核家族世帯割合(一般世帯)	61.3%	2
高齢単身世帯割合(一般世帯)	9.3%	41
(年齢)		
平均年齢	45.4歳	42
平均寿命(男)	80.82年	22
平均寿命(女)	86.66年	39
年齢100歳以上の人口	2,216人	9
(人口変動)		
昼間人口	6,456,452人	5
昼夜間人口比率	88.9	47
他都道府県からの転入者数	159,389人	3
他都道府県への転出者数	143,829人	4
出生数	54,447人	5
合計特殊出生率	1.37	40
死亡数(総数)	63,466人	5
(婚姻・離婚)		
婚姻率(人口千対)	4.8	12
離婚率(人口千対)	1.74	11
平均初婚年齢(夫)	31.5歳	3
平均初婚年齢(妻)	29.6歳	3

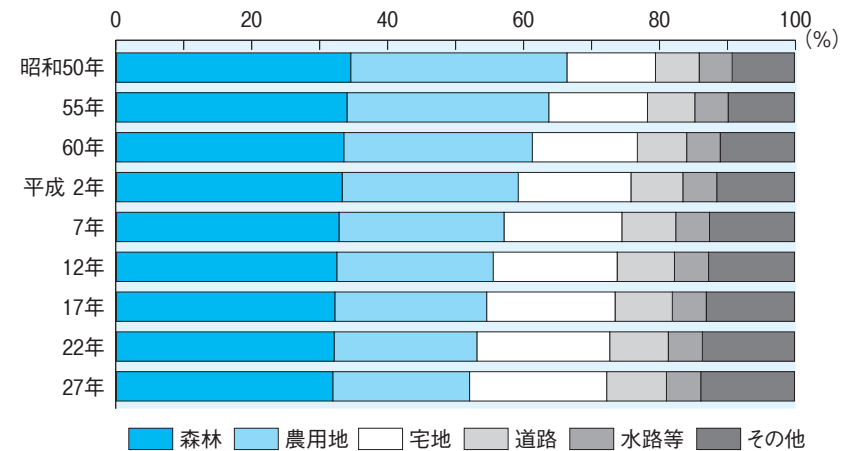
1 面積

単 位	*1 総面積 (北方地域、竹島及 び尖閣諸島を含む)		*2 総面積1km ² あたり 人口密度		*3 総面積中の 人口集中地区面積割合		*4 総面積中の 可住地面積割合	
	km ²	順位	人	順位	%	順位	%	順位
全 国	377,970.75		340.8		3.38		32.9	
北海道	83,424.31	1	68.6	47	0.95	43	28.5	30
青森県	9,645.59	8	135.6	41	1.66	33	33.5	22
岩手県	15,275.01	2	83.8	46	0.57	47	24.3	39
宮城県	7,282.22	16	320.5	19	3.53	16	43.3	14
秋田県	11,637.54	6	87.9	45	0.74	45	27.5	33
山形県	9,323.15	9	120.5	42	1.25	41	30.9	27
福島県	13,783.74	3	138.9	40	1.34	38	30.6	28
茨城県	6,097.06	24	478.4	12	4.03	13	65.2	4
栃木県	6,408.09	20	308.1	22	3.00	20	46.5	12
群馬県	6,362.28	21	310.1	21	3.13	19	35.8	19
埼玉県	3,797.75	39	1,913.4	4	18.23	4	68.1	3
千葉県	5,157.65	28	1,206.5	6	12.49	6	68.9	2
東京都	2,190.93	45	6,168.7	1	49.39	1	64.7	5
神奈川県	2,415.83	43	3,777.7	3	39.19	3	60.9	6
新潟県	12,584.10	5	183.1	34	1.85	31	36.0	18
富山県	4,247.61	33	251.0	25	2.45	26	43.4	13
石川県	4,186.09	35	275.7	23	2.61	25	33.2	23
福井県	4,190.49	34	187.7	31	1.99	29	25.7	35
山梨県	4,465.27	32	187.0	32	1.28	40	21.4	44
長野県	13,561.56	4	154.8	38	1.24	42	23.8	41
岐阜県	10,621.29	7	191.3	30	1.65	34	20.8	45
静岡県	7,777.42	13	475.8	13	5.46	11	35.4	21
愛知県	5,172.48	27	1,446.7	5	18.02	5	57.8	7
三重県	5,774.40	25	314.5	20	3.28	18	35.7	20
滋賀県	4,017.38	38	351.7	15	2.83	23	32.5	25
京都府	4,612.19	31	566.0	10	5.71	10	25.5	37
大阪府	1,905.14	46	4,639.8	2	47.58	2	69.8	1
兵庫県	8,400.96	12	658.8	8	6.95	8	33.1	24
奈良県	3,690.94	40	369.6	14	3.80	14	23.2	43
和歌山県	4,724.69	30	203.9	29	1.82	32	23.6	42
鳥取県	3,507.05	41	163.5	37	1.41	36	25.7	35
島根県	6,708.24	19	103.5	43	0.58	46	19.4	46
岡山県	7,114.50	17	270.1	24	2.84	22	31.2	26
広島県	8,479.45	11	335.4	17	3.57	15	27.3	34
山口県	6,112.30	23	229.8	28	3.44	17	27.9	32
徳島県	4,146.65	36	182.3	35	1.33	39	24.4	38
香川県	1,876.72	47	520.2	11	4.09	12	53.6	10
愛媛県	5,676.11	26	244.1	26	2.69	24	29.5	29
高知県	7,103.93	18	102.5	44	0.76	44	16.4	47
福岡県	4,986.40	29	1,023.1	7	11.36	7	55.4	8
佐賀県	2,440.68	42	341.2	16	2.33	27	54.7	9
長崎県	4,132.09	37	333.3	18	2.93	21	40.6	15
熊本県	7,409.35	15	241.1	27	2.11	28	37.7	16
大分県	6,340.71	22	183.9	33	1.86	30	28.4	31
宮崎県	7,735.31	14	142.7	39	1.43	35	23.9	40
鹿児島県	9,186.94	10	179.4	36	1.35	37	36.1	17
沖縄県	2,281.12	44	628.4	9	5.88	9	51.3	11

資料出所
*1~*3 「国勢調査」総務省統計局 HP
*4 「社会生活統計指標」総務省統計局 HP

調査時点又は期間
平成27年10月1日
平成27年10月1日
調査周期
5年
毎年

利用形態別土地面積構成比



注)1 平成17年、平成22年、平成27年の森林は推計面積による構成比。
2 農用地は、平成22年までは農地(田・畑)及び採草放牧地の合計面積、平成27年は農地(田・畑)及び原野等(採草放牧地・原野)の合計面積による構成比。
資料:「埼玉の土地」県土地水政策課 HP

総面積は国土の約1%で全国第39位、人口密度は全国第4位

平成27年10月1日現在の本県の総面積は3,797.75km²で国土の約1%に当たり、47都道府県中39番目の広さです。

総面積1km²当たりの人口密度は1,913.4人で、全国第4位でした。

また、県内の全ての市と9の町に設定されている人口集中地区が総面積に占める割合は18.23%で、全国第4位でした。

「社会生活統計指標」によると、平成27年10月1日現在の総面積に占める可住地面積の割合は、全国平均(32.9%)の約2倍の68.1%で、全国第3位でした。

$$\text{人口集中地区面積割合} = \frac{\text{人口集中地区面積}}{\text{総面積}} \times 100$$

$$\text{可住地面積割合} = \frac{\text{可住地面積}}{\text{北方地域及び竹島を除いた総面積}} \times 100$$

~「人口集中地区」「可住地面積」とは~

・人口集中地区

「人口集中地区」は、国勢調査基本単位区又は調査区を基礎単位として、
①人口密度が1km²当たり4,000人以上の基本単位区等が市区町村境域内で互いに隣接し、
②国勢調査時に、隣接地域の人口が5,000人以上を有する当該地域、としています。
昭和35年国勢調査以来、各回の調査ごとに設定され、地方交付税算定基準の一つとして利用されているほか、都市計画、地域開発計画、市街地再開発計画、産業立地計画、交通計画、環境衛生対策、防犯・防災対策、その他各種行政施策、学術研究及び民間市場調査などに広く利用されています。

・可住地面積

「可住地面積」は、総面積から林野面積と主要湖沼面積を差し引いて算出した面積です。



2 自然・地形

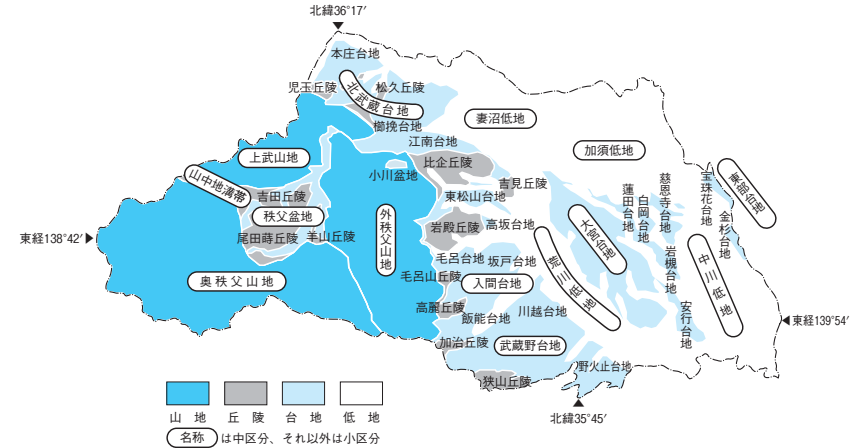
単 位	*1 自然公園面積		*2 自然公園面積割合		*3 林野面積割合		*4 河川延長・一級河川 (指定区間外含む)	
	ha	順位	%	順位	%	順位	km	順位
全 国	5,565,967		14.73		66.5		88,076.0	
北海道	867,540	1	10.40	39	70.6	18	10,175.6	1
青森県	114,187	19	11.84	31	65.1	25	1,083.2	34
岩手県	72,061	31	4.72	46	75.7	9	2,142.2	14
宮城県	171,199	8	23.51	10	56.4	34	2,116.0	15
秋田県	123,801	16	10.64	36	71.8	16	2,734.0	8
山形県	155,509	11	16.68	22	69.1	20	2,931.1	6
福島県	179,096	6	12.99	28	68.5	22	3,438.6	4
茨城県	90,896	22	14.91	23	31.2	45	1,892.9	20
栃木県	133,443	13	20.82	13	53.3	35	2,732.2	9
群馬県	88,864	24	13.97	26	64.1	27	2,904.5	7
埼玉県	124,582	15	32.80	5	31.9	44	1,645.0	25
千葉県	28,537	44	5.53	45	30.8	46	512.6	41
東京都	79,889	28	36.46	2	35.3	43	734.6	38
神奈川県	55,138	34	22.82	11	38.8	42	332.9	42
新潟県	316,891	2	25.18	9	63.9	28	3,602.9	3
富山県	125,554	14	29.56	6	56.6	33	1,171.2	32
石川県	52,564	35	12.56	29	66.6	24	316.9	43
福井県	61,912	33	14.77	24	74.0	12	1,099.3	33
山梨県	121,153	18	27.13	8	78.2	4	2,055.6	17
長野県	278,548	3	20.54	14	76.1	7	5,070.4	2
岐阜県	195,093	5	18.37	17	79.2	2	3,262.7	5
静岡県	84,041	26	10.81	35	63.7	30	1,627.0	27
愛知県	88,881	23	17.18	20	42.2	41	1,393.1	30
三重県	201,896	4	34.96	3	64.3	26	1,751.3	22
滋賀県	149,957	12	37.33	1	50.7	36	2,315.7	12
京都府	94,589	20	20.51	15	74.3	11	1,631.6	26
大阪府	20,039	47	10.52	37	10.2	47	668.9	39
兵庫県	166,015	9	19.76	16	66.9	23	1,768.5	21
奈良県	63,328	32	17.16	21	76.8	5	1,674.9	24
和歌山県	49,551	36	10.49	38	76.4	6	602.0	40
鳥取県	49,061	37	13.99	25	73.8	13	1,034.2	36
島根県	40,496	41	6.04	44	78.3	3	2,288.6	13
岡山県	80,664	27	11.34	32	68.8	21	2,543.3	10
広島県	37,857	43	4.46	47	72.7	14	2,418.7	11
山口県	42,971	39	7.03	42	72.1	15	215.7	44
徳島県	38,706	42	9.33	40	75.6	10	1,518.5	28
香川県	20,534	46	10.94	34	46.4	38	87.2	46
愛媛県	41,121	40	7.24	41	70.5	19	1,944.3	18
高知県	47,504	38	6.69	43	83.6	1	1,927.6	19
福岡県	88,101	25	17.67	19	44.6	40	1,302.2	31
佐賀県	26,884	45	11.01	33	45.3	39	1,076.4	35
長崎県	74,091	30	17.93	18	59.4	32	136.3	45
熊本県	155,636	10	21.01	12	62.3	31	1,734.5	23
大分県	174,391	7	27.50	7	71.6	17	2,074.5	16
宮崎県	91,919	21	11.88	30	76.1	7	1,508.5	29
鹿児島県	123,449	17	13.44	27	63.8	29	878.1	37
沖縄県	77,828	29	34.12	4	48.7	37	-	-

資料出所
*1,2 「環境統計集」環境省 HP
*3 「農林業センサス」農林水産省 HP
*4 「一級河川の河川延長等調」国土交通省 HP

調査時点又は期間
平成29年3月31日
平成27年2月1日
平成28年4月30日

調査周期
毎年
5年
毎年

埼玉県の地形



資料：「埼玉県の地形区分と名称図」(1975 村本達郎氏による)

県土の約3分の1が自然公園

本県は関東地方の中央部から西部に位置する内陸県で、東は茨城、千葉、西は長野、山梨、南は東京、北は群馬、栃木の1都6県に接しています。

地形は、県の最高峰・三宝山(2,483m)をはじめとする2,000m級の山々が西部に連なり、東部に移るにつれて丘陵、台地、低地と次第に低くなっています。

「環境統計集」によると、自然公園は国立1か所、県立10か所の計11か所が指定されており、その総面積(124,582ha)が県土に占める割合は32.80%で、全国第5位でした。

「農林業センサス」によると、林野面積は121,311haで、県土に占める割合は31.9%でした。

県内の一級河川延長は1,645.0km

「一級河川の河川延長等調」によると、県内の一級河川延長は1,645.0kmで、全国第25位でした。県内の一級河川はすべて利根川・荒川水系に含まれています。

～みどりの再生～

都市化の進展などにより本県の緑は年々減少し、昭和50年から平成17年までの30年間で山手線の内側とほぼ同じ約6,500haの平地林が失われました。

そこで県では緑豊かな埼玉を守るため、平成20年4月に自動車税の一部(1.5%)を財源として「彩の国みどりの基金」を創設しました。この基金を活用して、平成28年度までの9年間で8,980haの森林を整備、再生したほか、建物の屋上や壁面緑化、校庭・園庭の芝生化などにより、県内448か所の身近な施設で緑を創出しました。

また、「みどりの再生」に取り組む企業や団体などの活動を様々な形で支援しており、活動団体の裾野は確実に広がっています。



3 気象

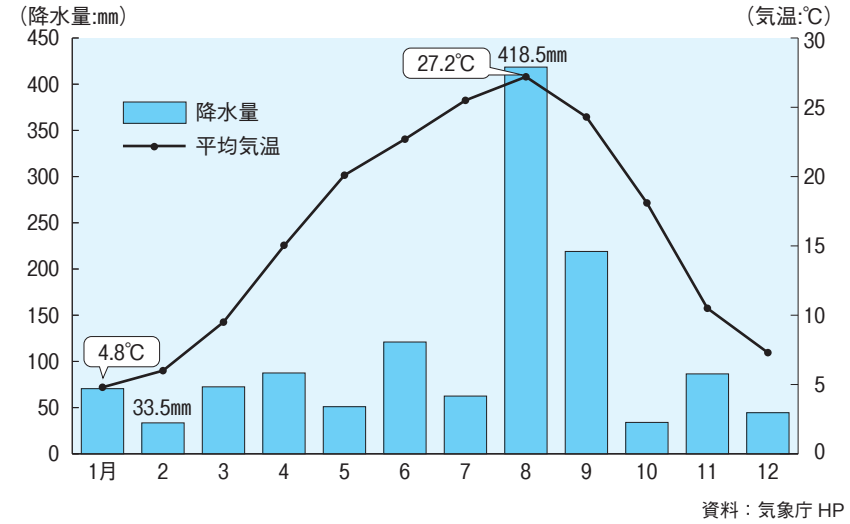
単 位	*1 年平均気温		*2 年間降水量		*3 年間日照時間		*4 年間快晴日数 (日平均雲量<1.5)	
	°C	順位	mm	順位	時間	順位	日	順位
全 国	
北海道	9.3	47	1,360.0	37	1,818.5	34	16	28
青森県	11.0	46	1,389.5	36	1,622.4	47	13	36
岩手県	11.2	45	1,318.0	39	1,823.9	33	11	40
宮城県	13.5	41	1,209.0	44	1,895.7	27	12	37
秋田県	12.5	44	1,795.5	21	1,673.5	45	9	45
山形県	12.7	43	1,243.5	43	1,683.3	43	11	40
福島県	14.2	40	1,172.0	45	1,817.7	35	11	40
茨城県	14.8	37	1,426.0	35	2,061.6	13	31	9
栃木県	14.8	37	1,591.5	28	1,936.3	21	34	6
群馬県	15.6	34	1,249.0	42	2,129.2	6	46	2
埼玉県	15.9	29	1,301.0	40	2,071.3	12	56	1
千葉県	16.5	25	1,927.5	18	2,009.8	18	19	23
東京都	16.4	26	1,779.0	24	1,841.7	31	24	13
神奈川県	16.9	21	1,969.5	17	1,935.2	22	24	13
新潟県	14.5	39	1,499.0	32	1,738.4	40	10	44
富山県	15.2	36	2,335.5	10	1,679.9	44	15	30
石川県	15.7	32	2,890.5	3	1,801.7	36	11	40
福井県	15.6	34	2,027.0	15	1,733.4	41	12	37
山梨県	15.7	32	1,125.0	46	2,187.8	1	28	11
長野県	13.1	42	923.0	47	2,022.3	16	16	28
岐阜県	16.9	21	1,988.0	16	2,134.5	5	36	5
静岡県	17.6	13	2,441.5	7	2,098.7	10	40	3
愛知県	17.0	20	1,686.0	26	2,168.2	2	32	8
三重県	16.9	21	1,785.5	23	2,143.6	4	34	6
滋賀県	15.8	31	1,628.5	27	2,013.0	17	23	18
京都府	17.1	19	1,840.0	19	1,846.8	30	12	37
大阪府	17.7	10	1,453.5	34	2,127.0	7	15	30
兵庫県	17.8	9	1,346.5	38	2,114.7	8	14	34
奈良県	16.0	27	1,493.5	33	1,887.1	28	15	30
和歌山県	17.7	10	1,508.0	31	2,154.6	3	17	26
鳥取県	16.0	27	1,795.0	22	1,713.4	42	9	45
島根県	15.9	29	1,800.0	20	1,663.6	46	14	34
岡山県	16.6	24	1,513.0	30	1,995.5	19	25	12
広島県	17.2	18	2,124.0	13	1,896.8	26	20	21
山口県	17.7	10	2,064.5	14	1,782.4	37	23	18
徳島県	17.6	13	1,715.0	25	2,098.8	9	19	23
香川県	17.5	17	1,286.0	41	2,028.5	15	18	25
愛媛県	17.6	13	1,583.5	29	1,925.4	24	17	26
高知県	18.1	4	2,823.0	4	2,096.7	11	31	9
福岡県	18.1	4	2,420.5	8	1,831.5	32	15	30
佐賀県	17.9	8	2,586.0	5	1,863.4	29	24	13
長崎県	18.1	4	2,293.0	11	1,782.4	37	20	21
熊本県	18.0	7	2,504.0	6	1,932.3	23	22	20
本分県	17.6	13	2,199.0	12	1,913.4	25	24	13
大宮	18.6	3	2,951.5	2	2,051.4	14	40	3
鹿児島県	19.6	2	3,285.5	1	1,945.7	20	24	13
沖縄県	24.1	1	2,368.0	9	1,757.2	39	4	47

資料出所
*1~4 気象庁 HP

調査時点又は期間
平成28年

調査周期
毎年

月別降水量・平均気温(平成28年・熊谷)



夏は高温多湿、冬は低温乾燥

本県の気候は、冬は北西の季節風が強く晴天の日が多くて乾燥し、夏は日中かなりの高温になり雷の発生が多く、降ひょうも多いのが特徴です。地域別に気温の特徴をみると、北部は、県内でも夏の気温が高い地域となっており、平成19年8月16日に熊谷と多治見(岐阜県)で、国内最高気温40.9℃を観測しました。(平成25年8月12日に高知県の江川崎で41.0℃を観測、国内最高気温は更新されました。)一方、秩父地方の盆地は、冬期に夜間の冷え込みが強く、昭和29年1月27日に-15.8℃の最低気温を観測しました。

年間快晴日数56日で全国第1位

気象庁によると、平成28年の熊谷の年平均気温は、平年値より0.9℃高い15.9℃、最高気温は7月7日の37.3℃、最低気温は1月20日の-5.7℃でした。

また、年間降水量は平年値より14.7mm多い1,301.0mmで、1日の最大降水量は8月22日の134.5mmでした。年間日照時間は平年値より29.2時間多い2,071.3時間となり、年間快晴日数は56日で、前年より1日多く、8年連続で全国第1位でした。

※表*1~4の各都道府県値は、原則、都道府県庁所在市の観測地点によりますが、埼玉県は熊谷、千葉県は銚子、滋賀県は彦根、山口県は下関の値としました。

◆ 冬日、夏日などの日数(熊谷) ◆

(単位：日)

	説 明	平成28年	平年値
冬 日	日最低気温が0℃未満の日	41	48.2
真冬日	日最高気温が0℃未満の日	-	0.0
夏 日	日最高気温が25℃以上の日	129	117.2
真夏日	日最高気温が30℃以上の日	67	56.7
猛暑日	日最高気温が35℃以上の日	8	13.9

注) 平年値は、昭和56年~平成22年の30年間の累年平均値。
資料：気象庁 HP

4 自然災害

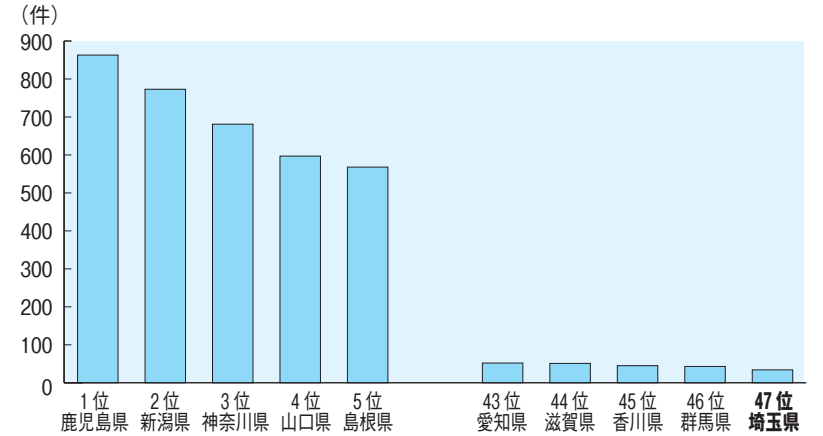
単 位	*1 自然災害による 被害総額		*2 河川被害発生箇所数		*3 土砂災害発生件数		*4 震度1以上 地震観測回数	
	百万円	順位	箇所	順位	件	順位	回	順位
全 国	1,755,315		7,124		1,492		6,587	
北 海 道	169,170	2	1,859	1	56	10	224	12
青 森 県	9,119	8	95	13	12	21	148	17
岩 手 県	145,387	3	775	3	158	2	245	11
宮 城 県	6,203	10	8	36	1	43	317	10
秋 田 県	1,360	28	10	34	9	24	74	27
山 形 県	4,657	14	97	12	4	37	92	24
福 島 県	1,073	30	38	23	7	28	438	5
茨 城 県	730	35	6	40	7	28	364	8
栃 木 県	919	32	24	27	1	43	182	15
群 馬 県	997	31	1	42	3	39	100	20
埼 玉 県	150	43	33	24	6	31	113	19
千 葉 県	5,014	12	8	36	31	14	190	13
東 京 都	65	45	7	38	8	27	132	18
神 奈 川 県	96	44	1	42	32	13	97	22
新 潟 県	2,283	22	20	28	38	11	68	28
富 山 県	1,421	26	30	26	11	22	11	46
石 川 県	658	36	11	33	3	39	18	43
福 井 県	279	42	-	44	1	43	10	47
山 梨 県	615	37	13	32	6	31	49	34
長 野 県	3,418	18	20	28	22	18	95	23
岐 阜 県	2,442	21	72	16	9	24	44	35
静 岡 県	1,362	27	19	31	18	20	89	26
愛 知 県	17	46	-	44	5	33	25	39
三 重 県	2,150	24	85	15	5	33	18	43
滋 賀 県	531	39	-	44	2	42	13	45
京 都 府	1,170	29	39	22	5	33	21	41
大 阪 府	16	47	-	44	3	39	21	41
兵 庫 県	754	34	10	34	4	37	39	36
奈 良 県	495	41	20	28	-	47	24	40
和 歌 山 県	3,727	16	60	18	24	17	64	31
鳥 取 県	6,232	9	7	38	34	12	477	3
島 根 県	4,951	13	126	10	27	16	58	33
岡 山 県	2,188	23	106	11	10	23	168	16
広 島 県	11,656	6	303	6	93	6	66	29
山 口 県	3,258	20	94	14	62	8	90	25
徳 島 県	1,627	25	62	17	9	24	30	38
香 川 県	565	38	31	25	7	28	38	37
愛 媛 県	3,355	19	50	20	58	9	64	31
高 知 県	3,477	17	248	7	21	19	65	30
福 岡 県	4,510	15	53	19	31	14	399	7
佐 賀 県	827	33	40	21	5	33	185	14
長 崎 県	5,847	11	162	9	96	5	364	8
熊 本 県	1,277,119	1	1,397	2	223	1	3,812	1
大 分 県	9,357	7	218	8	67	7	859	2
宮 崎 県	14,400	5	411	5	127	4	426	6
鹿 児 島 県	39,159	4	453	4	130	3	459	4
沖 縄 県	508	40	2	41	1	43	98	21

資料出所
*1,2 「消防白書」総務省消防庁 HP
*3 「都道府県別土砂災害発生状況」国土交通省 HP
*4 「地震・火山月報(防災編)」気象庁 HP

調査時点又は期間
平成28年
平成28年
平成28年

調査周期
毎年
毎年
毎年

土砂災害発生件数(平成19年~28年の累計)



資料:「都道府県別土砂災害発生状況」国土交通省 HP

自然災害被害総額が増加

「消防白書」によると、平成28年の自然災害による被害総額は、前年より2,971万円多い1億5,019万円でしたが、全国順位は前年と同じ第43位でした。河川被害も、前年より25箇所多い33箇所が発生しました。

「都道府県別土砂災害発生状況」によると、平成28年に発生した土砂災害は6件でした。なお、過去10年間(平成19年~28年)に発生した土砂災害件数(累計)は34件で、全国最少となっています。

県内の最大震度は震度4

「地震・火山月報(防災編)」によると、平成28年に国内で被害を伴った地震は7回(「熊本地震」により生じた一連の被害は、1回として扱っている。)でした。死者・行方不明者を伴った地震は、「熊本地震」の1回でした。本県の観測点での震度1以上の地震は113回あり、そのうち最大震度は震度4で、観測回数は7回でした。

また、気象庁によると、平成28年の台風の発生数は26個(平年値は25.6個)でした。そのうち日本に上陸した台風は、6個(平年値は2.7個)でした。本県では8月に、台風9号の猛烈な雨による浸水害、強風害、山がけ崩れ害などや、同月の台風10号の大雨による山がけ崩れ害が発生しました。

※表*3、グラフ及び文中の土砂災害の数値は、土石流等、地すべり及びがけ崩れの件数の合計です。

~熱中症を予防しましょう~

自然災害には、風水害や地震だけでなく、夏期の酷暑や冬期の雪害なども含まれます。総務省消防庁によると、平成29年夏期(5月から9月)の本県における熱中症による救急搬送人員は、2,800人でした。年齢区分別にみると、高齢者(65歳以上)が1,324人(47.3%)と最も多く、次いで成人(18歳以上65歳未満)が1,034人(36.9%)、少年(7歳以上18歳未満)が409人(14.6%)、乳幼児(生後28日以上7歳未満)が33人(1.2%)の順となっています。

熱中症は、暑い環境に長時間さらされることにより発症します。「熱中症予防5つのポイント」を活用して、熱中症を予防しましょう。

【熱中症予防5つのポイント】

- 1 高齢者は上手にエアコンを
- 2 暑くなる日は要注意
- 3 水分をこまめに補給
- 4 「おかしい!？」と思ったら病院へ
- 5 周りの人にも気配りを



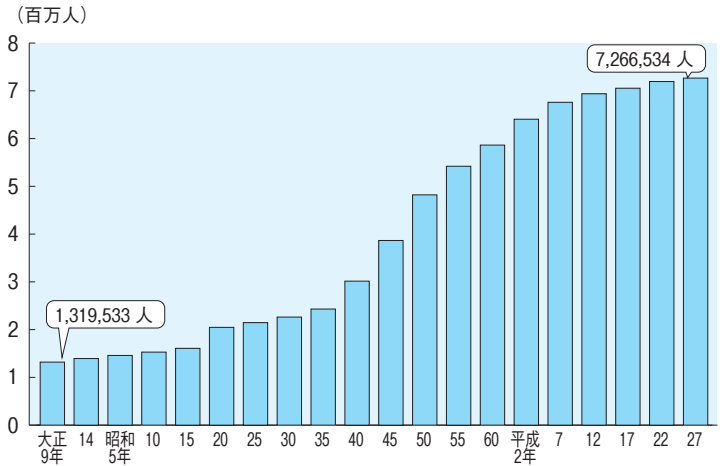
5 総人口

人口の推移(各年10月1日現在)

単 位	*1 人口		*2 男		*3 女		*4 外国人	
	人	順位	人	順位	人	順位	人	順位
全 国	127,094,745		61,841,738		65,253,007		1,752,368	
北海道	5,381,733	8	2,537,089	8	2,844,644	8	21,676	18
青森県	1,308,265	31	614,694	32	693,571	31	3,447	44
岩手県	1,279,594	32	615,584	31	664,010	32	5,017	39
宮城県	2,333,899	14	1,140,167	14	1,193,732	14	13,989	21
秋田県	1,023,119	38	480,336	38	542,783	38	2,914	47
山形県	1,123,891	35	540,226	35	583,665	36	5,503	37
福島県	1,914,039	21	945,660	20	968,379	21	8,725	30
茨城県	2,916,976	11	1,453,594	11	1,463,382	12	41,310	11
栃木県	1,974,255	18	981,626	18	992,629	20	26,494	17
群馬県	1,973,115	19	973,283	19	999,832	18	37,126	12
埼玉県	7,266,534	5	3,628,418	5	3,638,116	5	105,203	5
千葉県	6,222,666	6	3,095,860	6	3,126,806	6	90,178	6
東京都	13,515,271	1	6,666,690	1	6,848,581	1	378,564	1
神奈川県	9,126,214	2	4,558,978	2	4,567,236	3	144,500	4
新潟県	2,304,264	15	1,115,413	15	1,188,851	15	11,567	22
富山県	1,066,328	37	515,147	37	551,181	37	10,768	26
石川県	1,154,008	34	558,589	33	595,419	34	9,308	28
福井県	786,740	43	381,474	43	405,266	43	9,448	27
山梨県	834,930	41	408,327	41	426,603	42	11,115	24
長野県	2,098,804	16	1,022,129	16	1,076,675	16	26,640	16
岐阜県	2,031,903	17	983,850	17	1,048,053	17	35,382	13
静岡県	3,700,305	10	1,820,993	10	1,879,312	10	59,596	8
愛知県	7,483,128	4	3,740,844	4	3,742,284	4	166,150	2
三重県	1,815,865	22	883,516	22	932,349	23	31,333	15
滋賀県	1,412,916	26	696,941	26	715,975	30	19,886	19
京都府	2,610,353	13	1,248,972	13	1,361,381	13	43,949	10
大阪府	8,839,469	3	4,256,049	3	4,583,420	2	150,890	3
兵庫県	5,534,800	7	2,641,561	7	2,893,239	7	77,518	7
奈良県	1,364,316	30	643,946	30	720,370	29	8,726	29
和歌山県	963,579	40	453,216	40	510,363	39	4,667	40
鳥取県	573,441	47	273,705	47	299,736	47	3,384	45
島根県	694,352	46	333,112	46	361,240	46	5,371	38
岡山県	1,921,525	20	922,226	21	999,299	19	17,309	20
広島県	2,843,990	12	1,376,211	12	1,467,779	11	34,854	14
山口県	1,404,729	27	665,008	27	739,721	25	11,512	23
徳島県	755,733	44	359,790	44	395,943	44	3,871	42
香川県	976,263	39	472,308	39	503,955	40	6,928	35
愛媛県	1,385,262	28	654,380	28	730,882	27	8,096	33
高知県	728,276	45	342,672	45	385,604	45	3,236	46
福岡県	5,101,556	9	2,410,418	9	2,691,138	9	47,097	9
佐賀県	832,832	42	393,073	42	439,759	41	3,878	41
長崎県	1,377,187	29	645,763	29	731,424	26	7,669	34
熊本県	1,786,170	23	841,046	23	945,124	22	8,358	32
大分県	1,166,338	33	551,932	34	614,406	33	8,656	31
宮崎県	1,104,069	36	519,242	36	584,827	35	3,693	43
鹿児島県	1,648,177	24	773,061	24	875,116	24	5,847	36
沖縄県	1,433,566	25	704,619	25	728,947	28	11,020	25

資料出所 *1~4 「国勢調査」総務省統計局 HP

調査時点又は期間 調査周期
平成27年10月1日 5年



注) 昭和20年は11月1日現在で行われた「人口調査」による人口。
資料：「国勢調査」総務省統計局 HP

人口増加率は過去最低の1.0%

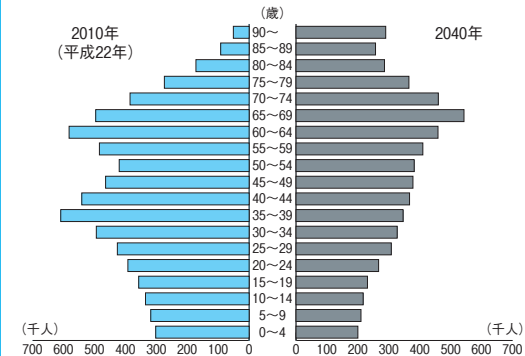
「国勢調査」によると、平成27年10月1日現在の人口は、前回調査(平成22年)より71,978人増加し、7,266,534人(男性3,628,418人、女性3,638,116人)で全国第5位でした。大正9年の調査開始以来、本県の人口は増加が続いていますが、増加率は過去最低の1.0%でした。

男女別にみると、男性人口が女性人口を上回っている都道府県はなく、女性100人に対する男性の数を表す人口性比では、愛知県の99.96、神奈川県の99.82に次いで、本県は99.73で全国第3位でした。

県内在住外国人の割合が上昇

県内に在住する外国人は105,203人で、前回調査に比べて16,469人(18.6%)増加しました。この結果、本県の人口に占める外国人の割合は、前回調査より0.22ポイント上昇して1.45%でした。

~どうなる？埼玉県の将来推計人口~



埼玉県の将来推計人口をグラフで表しました。

推計の基となった2010年(平成22年)の人口は719万人ですが、30年後の2040年には630万人に減少が予想されています。

また、若い世代の人口が減少する一方、高齢者人口の増加が予想されています。

資料：「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」国立社会保障・人口問題研究所 HP



6 人口(年齢3区分別)

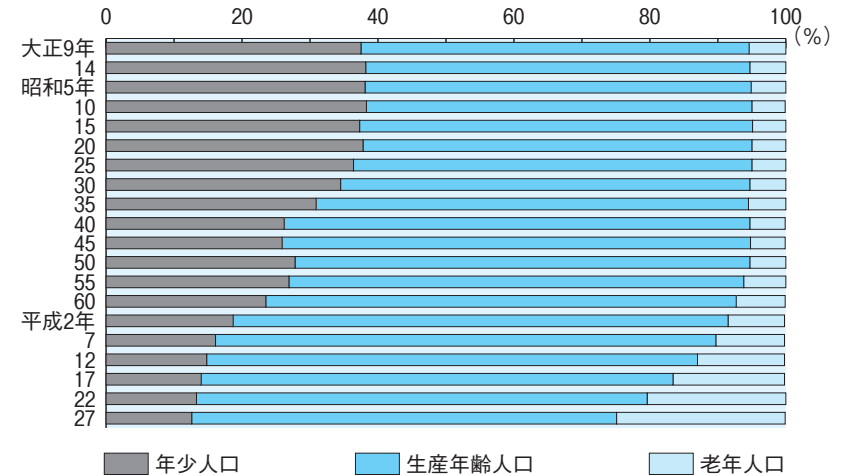
単 位	*1 年少人口割合 (0~14歳)		*2 生産年齢人口割合 (15~64歳)		*3 老年人口割合 (65歳以上)		*4 75歳以上人口割合	
	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位
全 国	12.6		60.7		26.6		12.8	
北海道	11.4	46	59.6	16	29.1	20	14.3	25
青森県	11.4	45	58.4	25	30.1	12	15.4	18
岩手県	11.9	41	57.8	30	30.4	11	16.3	5
宮城県	12.5	29	61.7	6	25.7	41	12.9	34
秋田県	10.5	47	55.7	45	33.8	1	18.4	1
山形県	12.1	38	57.1	37	30.8	7	16.9	4
福島県	12.1	39	59.2	17	28.7	23	15.0	20
茨城県	12.6	25	60.6	12	26.8	36	12.5	38
栃木県	12.9	20	61.3	10	25.9	39	12.2	39
群馬県	12.8	21	59.6	15	27.6	32	13.2	32
埼玉県	12.6	24	62.5	4	24.8	42	10.6	46
千葉県	12.4	31	61.7	7	25.9	40	11.4	41
東京都	11.5	44	65.9	1	22.7	46	10.8	44
神奈川県	12.6	26	63.5	2	23.9	44	10.9	43
新潟県	12.0	40	58.1	28	29.9	15	15.7	12
富山県	12.2	35	57.3	36	30.5	9	15.0	19
石川県	13.0	13	59.1	22	27.9	29	13.3	31
福井県	13.3	10	58.1	29	28.6	25	14.7	22
山梨県	12.4	33	59.2	18	28.4	26	14.5	24
長野県	13.0	17	57.0	39	30.1	13	15.7	11
岐阜県	13.2	11	58.7	24	28.1	27	13.6	28
静岡県	13.0	14	59.2	19	27.8	30	13.4	29
愛知県	13.8	4	62.4	5	23.8	45	10.8	45
三重県	13.0	15	59.1	21	27.9	28	13.7	27
滋賀県	14.5	2	61.3	8	24.2	43	11.3	42
京都府	12.3	34	60.2	13	27.5	34	12.9	35
大阪府	12.5	28	61.3	9	26.1	37	11.8	40
兵庫県	12.9	19	60.0	14	27.1	35	12.7	36
奈良県	12.5	30	58.8	23	28.7	22	13.3	30
和歌山県	12.1	37	57.0	40	30.9	6	15.5	15
鳥取県	12.9	18	57.3	34	29.7	16	15.8	9
島根県	12.6	27	55.0	47	32.5	3	17.7	2
岡山県	13.1	12	58.2	27	28.7	24	14.3	26
広島県	13.4	9	59.1	20	27.5	33	13.2	33
山口県	12.2	36	55.7	44	32.1	4	16.2	6
徳島県	11.7	42	57.4	33	31.0	5	16.0	8
香川県	12.8	22	57.3	35	29.9	14	15.0	21
愛媛県	12.4	32	57.0	41	30.6	8	15.6	13
高知県	11.6	43	55.5	46	32.8	2	17.2	3
福岡県	13.4	8	60.7	11	25.9	38	12.5	37
佐賀県	14.0	3	58.3	26	27.7	31	14.5	23
長崎県	13.0	16	57.4	32	29.6	17	15.6	14
熊本県	13.6	6	57.6	31	28.8	21	15.4	17
大分県	12.7	23	56.9	42	30.4	10	15.7	10
宮崎県	13.7	5	56.8	43	29.5	18	15.5	16
鹿児島県	13.5	7	57.0	38	29.4	19	16.1	7
沖縄県	17.4	1	62.9	3	19.6	47	10.1	47

資料出所
*1~4 「国勢調査」総務省統計局 HP

調査時点又は期間
平成27年10月1日

調査周期
5年

年齢3区分別人口構成比(各年10月1日現在)



注)昭和20年は11月1日現在で行われた「人口調査」による人口。
資料: 「国勢調査」総務省統計局 HP

低下する年少人口割合、上昇する老年人口割合

「国勢調査」によると、平成27年10月1日現在の人口に占める年齢3区分別の人口の割合は、年少人口割合が前回調査(平成22年)に比べ0.7ポイント低下し、大正9年の調査開始以来最も低い12.6%(910,805人)でした。

生産年齢人口割合は、前回調査に比べ3.7ポイント低下し62.5%(4,507,174人)となりましたが、東京都、神奈川県、沖縄県に次いで全国第4位の高さでした。

老年人口割合は、前回調査に比べ4.4ポイント上昇し、調査開始以来最も高い24.8%(1,788,735人)でした。前回調査の老年人口割合と比べると、全都道府県で上昇しており、25.0%未満だったのは埼玉県を含む6都県でした。

1割を超えた75歳以上人口の割合

人口に占める75歳以上人口の割合は、前回調査に比べ2.4ポイント上昇し、1割を超える10.6%(766,125人)となりましたが、沖縄県に次いで全国第46位と低い割合でした。一方、2.4ポイントの上昇は全国で最高でした。

※グラフ及び文中の各構成比は、昭和15年以降(昭和20年・45年を除く)は「不詳」数を分母に含めない方法により算出しています。

~20歳から69歳の人口~

(単位: %)

順位	20~69歳人口の割合
1	東京都 66.8
2	神奈川県 65.2
3	埼玉県 64.8
4	栃木県 64.2
5	千葉県 63.9
	全 国 62.9
43	長野県 59.7
44	宮崎県 59.7
45	鹿児島県 59.3
46	高知県 59.3
47	島根県 58.2

高齢化の進行などを踏まえ、生産年齢人口(15~64歳)を5歳上げた20~69歳の人口についてみると、生産年齢人口の4,507,174人より約20万人多い4,711,902人で、全国第5位でした。

人口に占める割合では、生産年齢人口の割合(62.5%)を2.3ポイント上回る64.8%で、東京都、神奈川県に次いで全国第3位となっています。



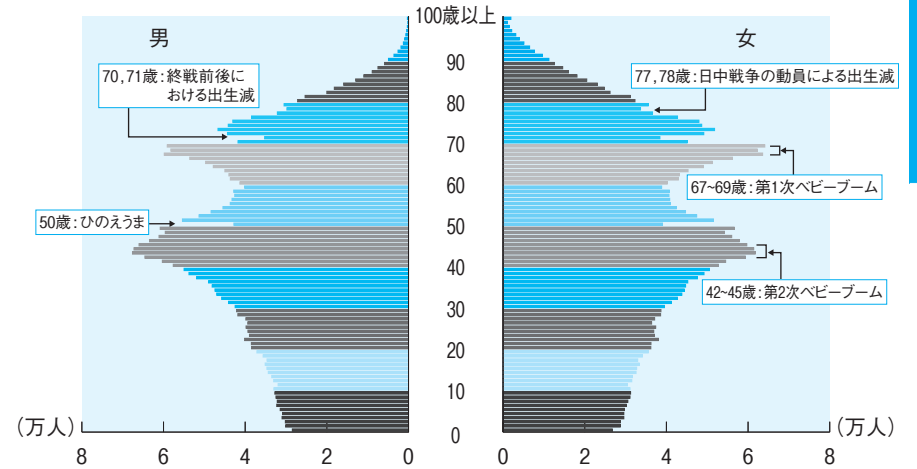
7 年齢

単 位	*1 平均年齢		*2 平均寿命(男)		*3 平均寿命(女)		*4 年齢100歳以上の人口	
	歳	順位	年	順位	年	順位	人	順位
全 国	46.4		80.77		87.01		61,763	
北海道	48.3	14	80.28	35	86.77	37	2,835	4
青森県	49.0	7	78.67	47	85.93	47	539	44
岩手県	49.0	8	79.86	45	86.44	42	723	33
宮城県	46.2	38	80.99	15	87.16	20	937	24
秋田県	51.3	1	79.51	46	86.38	44	557	43
山形県	49.1	4	80.52	29	86.96	29	645	36
福島県	48.2	16	80.12	41	86.40	43	970	22
茨城県	46.7	33	80.28	34	86.33	45	1,328	16
栃木県	46.4	36	80.10	42	86.24	46	846	28
群馬県	46.9	27	80.61	28	86.84	33	1,056	19
埼玉県	45.4	42	80.82	22	86.66	39	2,216	9
千葉県	46.0	39	80.96	16	86.91	30	2,256	8
東京都	44.7	44	81.07	11	87.26	15	5,142	1
神奈川県	45.0	43	81.32	5	87.24	17	3,487	2
新潟県	48.5	11	80.69	24	87.32	11	1,551	12
富山県	48.4	12	80.61	27	87.42	8	734	31
石川県	46.7	32	81.04	12	87.28	13	674	35
福井県	47.4	24	81.27	6	87.54	5	507	45
山梨県	47.6	22	80.85	21	87.22	18	592	39
長野県	48.2	17	81.75	2	87.67	1	1,454	14
岐阜県	46.9	30	81.00	14	86.82	34	998	21
静岡県	47.0	26	80.95	17	87.10	24	1,855	10
愛知県	44.3	46	81.10	8	86.86	32	2,437	7
三重県	46.9	28	80.86	19	86.99	27	890	27
滋賀県	44.5	45	81.78	1	87.57	4	590	40
京都府	46.3	37	81.40	3	87.35	9	1,463	13
大阪府	45.8	40	80.23	38	86.73	38	3,277	3
兵庫県	46.5	35	80.92	18	87.07	25	2,601	6
奈良県	47.2	25	81.36	4	87.25	16	715	34
和歌山県	48.7	9	79.94	44	86.47	41	580	41
鳥取県	48.2	18	80.17	39	87.27	14	481	47
島根県	49.5	3	80.79	23	87.64	3	622	38
岡山県	46.9	29	81.03	13	87.67	2	1,218	18
広島県	46.5	34	81.08	9	87.33	10	1,830	11
山口県	49.0	5	80.51	30	86.88	31	1,030	20
徳島県	49.0	6	80.32	33	86.66	40	489	46
香川県	48.0	20	80.85	20	87.21	19	734	31
愛媛県	48.6	10	80.16	40	86.82	35	943	23
高知県	49.8	2	80.26	37	87.01	26	625	37
福岡県	45.7	41	80.66	25	87.14	21	2,758	5
佐賀県	46.8	31	80.65	26	87.12	23	567	42
長崎県	48.2	15	80.38	31	86.97	28	921	26
熊本県	47.5	23	81.22	7	87.49	6	1,337	15
大分県	48.3	13	81.08	10	87.31	12	749	30
宮崎県	47.9	21	80.34	32	87.12	22	787	29
鹿児島県	48.1	19	80.02	43	86.78	36	1,290	17
沖縄県	42.1	47	80.27	36	87.44	7	927	25

資料出所
*1,4 「国勢調査」総務省統計局 HP
*2,3 「都道府県別生命表」厚生労働省 HP

調査時点又は期間
平成27年10月1日
平成27年
調査周期
5年
5年

埼玉県の人口ピラミッド(平成29年1月1日現在)



資料:「埼玉県町(丁)字別人口調査」県統計課 HP

全国で6番目に若い県

「国勢調査」によると、平成27年10月1日現在、平均年齢は45.4歳で、沖縄県、愛知県、滋賀県、東京都、神奈川県に続いて全国で6番目に若い県でした。前回調査(平成22年)では43.6歳で5番目に若い県でしたが、1.8歳上昇しました。

$$\text{平均年齢} = \frac{\text{年齢(各歳)} \times \text{各歳別人口}}{\text{各歳別人口の合計(年齢「不詳」を除く)}} + 0.5$$

延びる平均寿命

「都道府県別生命表」によると、平成27年の国勢調査等を基に算出した本県の平均寿命は、男性が80.82年、女性が86.66年で、算出を始めた昭和40年と比べ男性は13.56年、女性は14.21年上昇しています。

「国勢調査」によると、平成27年10月1日現在の年齢100歳以上の人口は2,216人で、5年前の前回調査(平成22年、1,396人)の約1.5倍、10年前の前々回調査(平成17年、749人)の約3倍に増加しました。

40歳代人口が最多

「埼玉県町(丁)字別人口調査」によると、平成29年1月1日現在の人口を年齢階級別にみると、40歳代が1,202,175人で総数(7,343,733人)の16.4%を占め最も多く、次いで60歳代が1,020,010人で同13.9%、30歳代が933,163人で同12.7%と続いています。

～市町村の平均年齢～

(単位:歳)

平均年齢が高い	順位	平均年齢が低い		
鳩山町	53.4	1	戸田市	40.7
東秩父村	53.3	2	和光市	40.8
長瀬町	51.4	3	朝霞市	42.0
ときがわ町	51.3	4	伊奈町	42.6
小鹿野町	51.2	5	吉川市	42.7

資料:「平成27年国勢調査」総務省統計局 HP

「国勢調査」によると、平成27年10月1日現在、県内市町村で最も平均年齢が高いのは鳩山町(53.4歳)で、最も平均年齢が低いのは戸田市(40.7歳)でした。



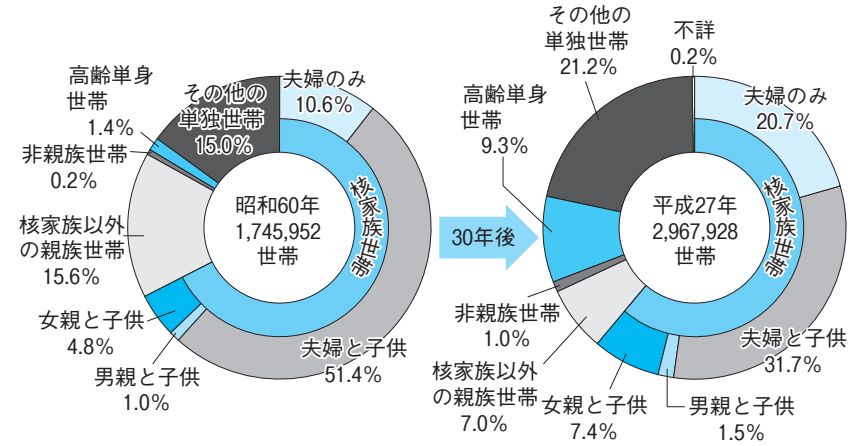
8 世帯

単 位	*1 一般世帯数		*2 1世帯当たり人員 (一般世帯)		*3 核家族世帯割合 (一般世帯)		*4 高齢単身世帯割合 (一般世帯)	
	世帯	順位	人	順位	%	順位	%	順位
	全 国	53,331,797		2.33		55.8		11.1
北海道	2,438,206	7	2.13	46	55.9	28	13.1	9
青森県	509,241	31	2.48	20	53.3	37	12.1	15
岩手県	489,383	32	2.54	15	51.3	45	10.9	26
宮城県	942,569	14	2.43	25	51.3	44	9.1	45
秋田県	387,392	40	2.55	10	52.0	41	12.3	13
山形県	392,288	37	2.78	1	49.8	46	9.4	40
福島県	730,013	21	2.56	9	51.4	43	10.6	28
茨城県	1,122,443	13	2.55	12	57.4	17	8.9	46
栃木県	761,863	19	2.54	13	56.7	24	9.2	44
群馬県	772,014	17	2.50	19	59.2	6	10.3	31
埼玉県	2,967,928	5	2.41	27	61.3	2	9.3	41
千葉県	2,604,839	6	2.35	34	59.0	7	9.9	35
東京都	6,690,934	1	1.99	47	47.8	47	11.1	25
神奈川県	3,965,190	2	2.26	40	58.4	12	10.1	34
新潟県	846,485	15	2.65	5	53.0	39	9.7	39
富山県	390,313	39	2.66	4	54.9	31	10.2	32
石川県	452,355	35	2.48	21	54.9	34	10.1	33
福井県	278,990	45	2.75	2	52.7	40	9.7	37
山梨県	330,375	41	2.47	23	57.8	15	11.3	21
長野県	805,279	16	2.55	11	57.0	21	10.4	29
岐阜県	751,726	20	2.65	6	58.1	13	9.7	38
静岡県	1,427,449	10	2.54	14	56.8	23	9.8	36
愛知県	3,059,956	4	2.41	28	56.9	22	9.2	43
三重県	718,934	23	2.47	22	58.6	9	10.8	27
滋賀県	536,706	29	2.59	7	58.8	8	8.3	47
京都府	1,151,422	12	2.22	42	54.1	36	11.9	19
大阪府	3,918,441	3	2.22	43	56.1	27	13.3	7
兵庫県	2,312,284	8	2.35	33	59.3	5	12.4	12
奈良県	529,258	30	2.52	17	63.9	1	11.2	22
和歌山県	391,465	38	2.40	29	60.3	3	15.0	3
鳥取県	216,244	47	2.57	8	53.1	38	11.1	24
島根県	264,080	46	2.53	16	51.8	42	12.0	16
岡山県	771,242	18	2.43	26	55.9	29	11.2	23
広島県	1,209,288	11	2.29	37	57.5	16	11.9	17
山口県	597,426	25	2.27	39	57.9	14	14.5	4
徳島県	304,911	43	2.39	30	54.9	32	12.9	11
香川県	397,602	36	2.39	31	57.2	19	12.1	14
愛媛県	590,629	26	2.28	38	57.2	18	13.8	5
高知県	318,086	42	2.20	44	54.9	33	16.5	1
福岡県	2,196,617	9	2.26	41	54.5	35	11.8	20
佐賀県	301,009	44	2.67	3	55.8	30	10.4	30
長崎県	558,380	28	2.37	32	57.1	20	13.2	8
熊本県	702,565	24	2.46	24	56.1	26	11.9	18
大分県	485,001	33	2.32	35	56.4	25	12.9	10
宮崎県	461,389	34	2.31	36	59.3	4	13.6	6
鹿児島県	722,372	22	2.20	45	58.6	11	15.3	2
沖縄県	559,215	27	2.50	18	58.6	10	9.2	42

資料出所 *1~4 「国勢調査」総務省統計局 HP

調査時点又は期間 調査周期
平成27年10月1日 5年

家族類型別一般世帯構成比の変化



資料：「国勢調査」総務省統計局 HP

増加する世帯数と進む世帯の小規模化

「国勢調査」によると、県内における平成27年10月1日現在の総世帯数は2,971,659世帯で、そのうち一般世帯数は2,967,928世帯、施設等の世帯数は3,731世帯でした。一般世帯数は、前回調査(平成22年)と比べると130,386世帯(4.6%)増加しました。

一般世帯の1世帯当たり人員は2.41人で、全国平均(2.33人)を上回ったものの、前回調査より0.09人減少しました。1世帯当たり人員は、前回調査と比べると全ての都道府県で減少しており、世帯の小規模化が進んでいます。

核家族世帯割合は全国第2位

家族類型別に一般世帯をみると、核家族世帯が1,820,049世帯で一般世帯の61.3%を占めており、この割合は全国第2位でした。また、核家族世帯のうち、夫婦のみの世帯は613,438世帯(一般世帯の20.7%)、夫婦と子供から成る世帯は940,338世帯(同31.7%)でした。

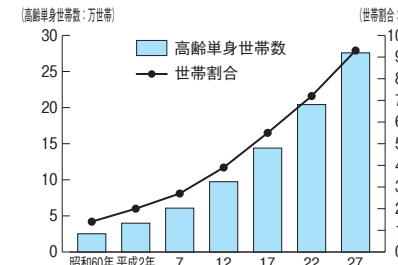
高齢単身世帯は、前回調査より71,565世帯(35.0%)増加して275,777世帯で、一般世帯に占める割合は9.3%でした。

高齢単身世帯 65歳以上の人一人のみの一般世帯。

~高齢単身世帯数(割合)の推移~

「国勢調査」によると、県内の高齢単身世帯数は、昭和60年には25,255世帯(一般世帯に占める割合1.4%)でしたが、平成27年には275,777世帯(同9.3%)に達し、30年間で約11倍に増加しました。高齢単身世帯の割合は、調査を重ねるごとに増加を続けています。

	高齢単身世帯数 (世帯)	世帯割合 (%)
昭和60年	25,255	1.4
平成2年	39,905	2.0
7	60,766	2.7
12	97,324	3.9
17	143,923	5.5
22	204,212	7.2
27	275,777	9.3



資料：「国勢調査」総務省統計局 HP



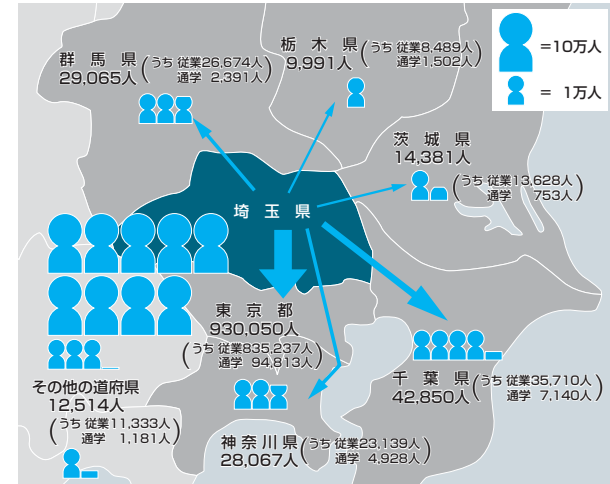
9 昼間人口

単 位	*1 昼間人口		*2 昼夜間人口比率		*3 流入人口		*4 流出人口	
	人	順位	—	順位	人	順位	人	順位
全 国	127,094,745		100.0		5,768,185		5,768,185	
北海道	5,378,786	7	99.9	17	6,653	42	9,636	38
青森県	1,306,283	30	99.8	24	6,954	41	8,951	42
岩手県	1,276,705	31	99.8	28	11,650	30	14,530	28
宮城県	2,339,786	14	100.3	5	29,876	20	24,021	22
秋田県	1,020,642	38	99.8	31	3,147	45	5,625	45
山形県	1,120,365	35	99.7	32	6,444	43	9,982	35
福島県	1,917,815	21	100.2	10	24,987	22	21,116	25
茨城県	2,842,851	12	97.5	40	85,913	9	70,469	8
栃木県	1,955,198	18	99.0	37	58,494	12	17,607	13
群馬県	1,969,764	17	99.8	25	61,373	11	64,714	16
埼玉県	6,456,452	5	88.9	47	261,155	4	1,066,918	2
千葉県	5,582,241	6	89.7	46	190,214	7	828,177	3
東京都	15,920,405	1	117.8	1	2,887,068	1	493,631	4
神奈川県	8,322,926	3	91.2	44	324,012	3	1,121,858	1
新潟県	2,302,236	15	99.9	21	8,031	39	10,059	34
富山県	1,063,834	37	99.8	30	8,929	37	11,421	31
石川県	1,156,536	34	100.2	8	13,864	26	11,343	32
福井県	786,736	43	100.0	15	7,892	40	7,903	44
山梨県	828,495	42	99.2	36	11,734	29	18,192	26
長野県	2,094,051	16	99.8	29	10,906	31	15,604	27
岐阜県	1,952,630	19	96.1	42	50,611	14	129,708	10
静岡県	3,692,336	10	99.8	26	37,414	17	45,428	17
愛知県	7,586,294	4	101.4	4	199,397	6	96,342	11
三重県	1,784,775	22	98.3	38	33,800	19	64,787	15
滋賀県	1,363,716	29	96.5	41	46,369	15	94,956	12
京都府	2,656,353	13	101.8	3	201,931	5	157,555	9
大阪府	9,224,306	2	104.4	2	663,988	2	278,110	6
兵庫県	5,294,074	8	95.7	43	142,153	8	381,168	5
奈良県	1,228,426	32	90.0	45	55,402	13	192,546	7
和歌山県	946,387	40	98.2	39	18,898	23	36,487	19
鳥取県	572,678	47	99.9	23	9,004	36	9,786	37
島根県	694,770	46	100.1	12	9,829	32	9,397	39
岡山県	1,921,822	20	100.0	13	26,215	21	26,174	21
広島県	2,850,087	11	100.2	9	35,595	18	29,580	20
山口県	1,399,109	26	99.6	34	16,272	24	21,707	24
徳島県	752,919	44	99.6	33	5,118	44	7,942	43
香川県	978,511	39	100.2	7	12,117	27	9,875	36
愛媛県	1,385,392	27	100.0	14	9,175	35	9,034	40
高知県	727,644	45	99.9	20	3,032	46	3,642	46
福岡県	5,105,438	9	100.1	11	76,472	10	72,565	14
佐賀県	834,871	41	100.2	6	40,604	16	38,767	18
長崎県	1,374,210	23	99.8	27	9,271	34	12,255	30
熊本県	1,777,292	23	99.5	35	14,465	25	23,272	23
大分県	1,165,668	33	99.9	18	11,894	28	12,524	29
宮崎県	1,103,434	36	99.9	19	8,373	38	9,006	41
鹿児島県	1,646,386	24	99.9	22	9,331	33	11,195	33
沖縄県	1,433,110	25	100.0	16	2,159	47	2,620	47

資料出所 *1~4 「国勢調査」総務省統計局 HP

調査時点又は期間 調査周期
平成27年10月1日 5年

県外に就業する就業者及び通学者数(平成27年10月1日現在)



注)15歳以上。

資料:「国勢調査」総務省統計局 HP

全国で最も低い昼夜間人口比率

「国勢調査」によると、平成27年10月1日現在の昼間人口は、前回調査(平成22年)より82,963人増加して6,456,452人(増加率1.3%)で、前回に引き続き全国第5位でした。一方、常住人口(夜間人口)は7,266,534人でした。

昼夜間人口比率は88.9で、前回調査より0.3ポイント上昇したものの、前回に引き続き全国で最も低い比率でした。

県外に就業する就業者及び通学者数は全国第2位

本県に常住する15歳以上の就業者・通学者は3,858,637人で、そのうち県外へ就業・通学している者(流出人口)は1,066,918人で、全国第2位でした。

県外への就業・通学者は、東京都への930,050人が最多でしたが、前回調査(平成22年)より10,552人減少しました。次いで千葉県への42,850人、群馬県への29,065人の順でした。

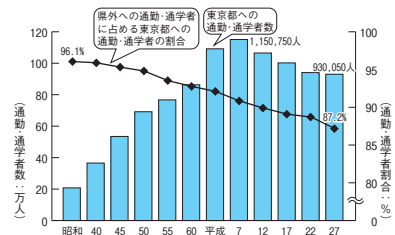
一方、他都道府県に常住する15歳以上の就業者・通学者のうち、本県で就業・通学している者(流入人口)は261,155人で、全国第4位でした。

県外からの就業・通学者は、東京都からの139,434人が最も多く、次いで千葉県からの41,286人、群馬県からの27,766人の順でした。

- 常住人口 調査時に普段住んでいる場所における人口で、夜間人口とも呼ばれる。
- 昼間人口 昼間活動している場所における人口で、常住人口から就業・通学(15歳未満通学者を含む)による流出人口及び流入人口を加減した人口。
- 昼夜間人口比率 常住人口を100とした場合の昼間人口の割合。

～埼玉都民～

◆東京都への通勤・通学者(15歳以上)の推移◆



埼玉県から東京都内へ通勤・通学するいわゆる「埼玉都民」は930,050人(平成27年)で、平成7年の1,150,750人をピークに減少傾向が続いています。

また、県外への通勤・通学者総数に占める「埼玉都民」の割合は87.2%(平成27年)で、昭和35年の96.1%より8.9ポイント低くなり、東京都以外への分散化がうかがえます。



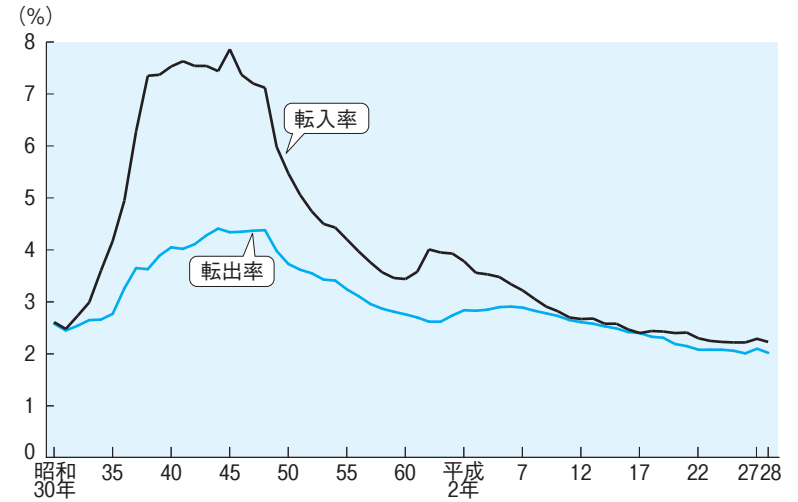
10 転入・転出

単 位	*1 他都道府県からの 転入者数		*2 他都道府県への 転出者数		*3 転入超過数		*4 転入超過率	
	人	順位	人	順位	人	順位	%	順位
全 国	2,275,331		2,275,331		-		-	
北海道	48,544	11	55,418	10	△ 6,874	47	△ 0.13	18
青森県	17,061	35	23,384	30	△ 6,323	43	△ 0.49	47
岩手県	17,113	33	20,983	32	△ 3,870	34	△ 0.31	38
宮城県	47,124	12	47,607	14	△ 483	9	△ 0.02	8
秋田県	11,353	41	15,751	39	△ 4,398	37	△ 0.44	46
山形県	12,921	38	16,560	38	△ 3,639	30	△ 0.33	41
福島県	25,505	22	31,344	17	△ 5,839	41	△ 0.31	38
茨城県	45,166	14	48,875	12	△ 3,709	32	△ 0.13	18
栃木県	29,760	15	32,748	16	△ 2,988	27	△ 0.15	22
群馬県	26,344	17	29,080	22	△ 2,736	26	△ 0.14	21
埼玉県	159,389	3	143,829	4	15,560	3	0.22	3
千葉県	143,081	5	127,006	5	16,075	2	0.26	2
東京都	413,444	1	339,267	1	74,177	1	0.56	1
神奈川県	205,368	2	193,312	2	12,056	4	0.13	4
新潟県	21,316	29	27,505	25	△ 6,189	42	△ 0.27	32
富山県	12,206	40	13,210	42	△ 1,004	13	△ 0.10	14
石川県	17,519	31	18,330	35	△ 811	12	△ 0.07	12
福井県	8,557	47	10,377	46	△ 1,820	18	△ 0.24	29
山梨県	12,366	39	14,377	41	△ 2,011	20	△ 0.25	30
長野県	25,765	20	28,445	23	△ 2,680	25	△ 0.13	18
岐阜県	25,459	23	30,490	18	△ 5,031	39	△ 0.25	30
静岡県	49,211	10	55,601	9	△ 6,390	44	△ 0.18	23
愛知県	111,160	6	104,895	6	6,265	5	0.09	6
三重県	25,728	21	29,325	21	△ 3,597	28	△ 0.20	25
滋賀県	24,656	24	25,362	27	△ 706	10	△ 0.05	11
京都府	53,759	9	54,509	11	△ 750	11	△ 0.03	10
大阪府	152,537	4	150,743	3	1,794	7	0.02	7
兵庫県	85,933	8	92,693	7	△ 6,760	45	△ 0.12	17
奈良県	23,004	26	26,623	26	△ 3,619	29	△ 0.27	32
和歌山県	10,681	42	14,575	40	△ 3,894	35	△ 0.41	44
鳥取県	8,672	46	9,982	47	△ 1,310	16	△ 0.23	26
島根県	10,248	43	11,500	43	△ 1,252	15	△ 0.18	23
岡山県	28,054	16	30,027	20	△ 1,973	19	△ 0.10	14
広島県	45,966	13	48,102	13	△ 2,136	21	△ 0.08	13
山口県	21,394	28	25,195	28	△ 3,801	33	△ 0.28	36
徳島県	9,107	44	10,855	45	△ 1,748	17	△ 0.23	26
香川県	16,937	36	18,038	36	△ 1,101	14	△ 0.11	16
愛媛県	17,080	34	20,727	33	△ 3,647	31	△ 0.27	32
高知県	8,919	45	11,184	44	△ 2,265	22	△ 0.32	40
福岡県	98,344	7	92,612	8	5,732	6	0.11	5
佐賀県	14,831	37	17,131	37	△ 2,300	23	△ 0.28	36
長崎県	22,105	27	27,678	24	△ 5,573	40	△ 0.41	44
熊本県	26,003	18	32,794	15	△ 6,791	46	△ 0.38	42
大分県	17,852	30	20,460	34	△ 2,608	24	△ 0.23	26
宮崎県	17,404	32	21,692	31	△ 4,288	36	△ 0.39	43
鹿児島県	25,811	19	30,284	19	△ 4,473	38	△ 0.27	32
沖縄県	24,574	25	24,846	29	△ 272	8	△ 0.02	8

資料出所 *1~4 「住民基本台帳人口移動報告年報」総務省統計局 HP

調査時点又は期間 調査周期
平成28年 毎年

転入率と転出率



資料：「住民基本台帳人口移動報告年報」総務省統計局 HP

転入者数、転入超過数及び転入超過率いずれも全国第3位

「住民基本台帳人口移動報告年報」によると、平成28年の住民基本台帳上の他都道府県からの転入者数(日本人移動者)は、前年より2,886人減少して159,389人で、全国第3位でした。内訳は、東京都からの転入が最も多く59,662人、次いで神奈川県から13,845人、千葉県から12,906人の順でした。

また、他都道府県への転出者数(日本人移動者)は、前年より4,918人減少して143,829人で、全国第4位でした。内訳は、東京都への転出が最も多く56,689人、次いで神奈川県へ13,852人、千葉県へ13,327人の順でした。

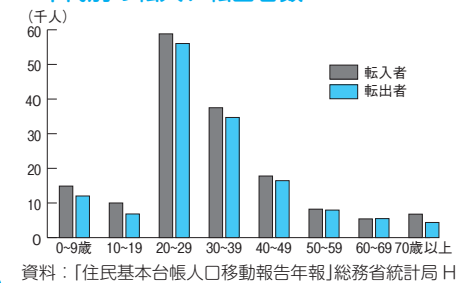
転入者数と転出者数を比べると、昭和30年以降、転出者より転入者の方が多い転入超過の状況が続いていましたが、平成17年は51年ぶりに転出者の方が多い転出超過となりました。しかし、平成18年からは再び転入超過となっています。平成28年に転入超過となったのは7都府県で、本県の転入超過数は15,560人、転入超過率は0.22%で、いずれも東京都、千葉県に次いで全国第3位でした。

転入超過率 推計日本人人口(国勢調査実施年は、同調査結果の日本人人口)を100とした場合の転入超過数の比率。

転入(転出)率 推計日本人人口(国勢調査実施年は、同調査結果の日本人人口)を100とした場合の転入(転出)数の比率。

※表*3,4の△は、転出超過を示します。

～年代別の転入、転出者数～



平成28年の本県への転入者数と本県からの転出者数を年代別にみると、転入者・転出者ともに20歳代(転入者：58,825人、転出者：56,036人)が最も多く、次いで30歳代(転入者：37,503人、転出者：34,688人)が続いています。

20歳代と30歳代を合わせると、転入者・転出者ともに全体の約6割を占めています。



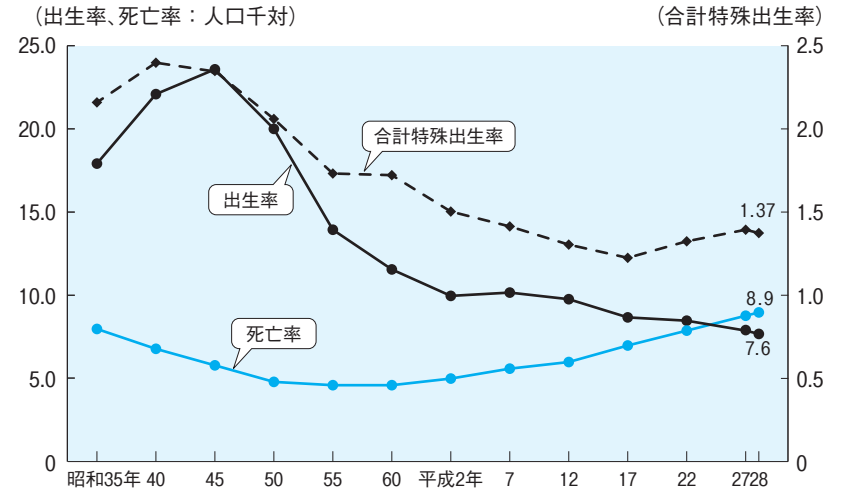
11 出生

単 位	*1 出生数		*2 出生率 (人口千対)		*3 自然増減率 (人口千対)		*4 合計特殊出生率	
	人	順位	—	順位	—	順位	—	順位
全 国	976,978		7.8		△ 2.6		1.44	
北海道	35,125	9	6.6	46	△ 5.0	33	1.29	46
青森県	8,626	34	6.7	43	△ 6.7	43	1.48	30
岩手県	8,341	35	6.6	45	△ 6.8	44	1.45	36
宮城県	17,347	14	7.5	26	△ 2.6	12	1.34	45
秋田県	5,666	43	5.6	47	△ 9.5	47	1.39	38
山形県	7,547	36	6.8	42	△ 6.9	45	1.47	34
福島県	13,744	22	7.3	32	△ 5.5	36	1.59	13
茨城県	20,878	12	7.3	31	△ 3.7	20	1.47	33
栃木県	14,621	21	7.5	25	△ 3.5	18	1.46	35
群馬県	13,661	24	7.1	37	△ 4.4	25	1.48	31
埼玉県	54,447	5	7.6	23	△ 1.3	6	1.37	40
千葉県	45,387	6	7.4	29	△ 1.8	8	1.35	43
東京都	111,962	1	8.5	5	△ 0.1	2	1.24	47
神奈川県	70,648	2	7.9	17	△ 0.7	5	1.36	41
新潟県	15,736	16	6.9	41	△ 5.8	38	1.43	37
富山県	7,302	38	7.0	40	△ 5.3	35	1.50	27
石川県	8,927	33	7.8	19	△ 3.1	14	1.53	22
福井県	6,112	41	7.9	15	△ 4.0	24	1.65	8
山梨県	5,819	42	7.1	36	△ 4.6	28	1.51	23
長野県	15,169	18	7.4	30	△ 4.8	31	1.59	12
岐阜県	14,831	20	7.5	27	△ 3.8	23	1.54	21
静岡県	27,652	10	7.6	22	△ 3.2	15	1.55	19
愛知県	64,226	4	8.8	2	△ 0.1	2	1.56	18
三重県	13,202	25	7.4	28	△ 3.7	20	1.51	24
滋賀県	12,072	26	8.7	4	△ 0.3	4	1.56	17
京都府	19,327	13	7.6	24	△ 2.5	11	1.34	44
大阪府	68,816	3	7.9	14	△ 1.8	8	1.37	39
兵庫県	43,378	8	8.0	13	△ 2.2	10	1.49	29
奈良県	9,430	30	7.0	39	△ 3.4	17	1.36	42
和歌山県	6,658	40	7.0	38	△ 6.3	42	1.50	28
鳥取県	4,436	47	7.8	18	△ 5.2	34	1.60	11
島根県	5,300	45	7.7	21	△ 6.2	40	1.75	2
岡山県	15,477	17	8.2	10	△ 3.2	15	1.56	16
広島県	22,736	11	8.1	11	△ 2.6	12	1.57	15
山口県	9,844	29	7.1	35	△ 6.2	40	1.58	14
徳島県	5,346	44	7.2	34	△ 6.0	39	1.51	25
香川県	7,510	37	7.8	20	△ 4.6	28	1.64	9
愛媛県	9,911	28	7.3	33	△ 5.7	37	1.54	20
高知県	4,779	46	6.7	44	△ 7.7	46	1.47	32
福岡県	44,033	7	8.7	3	△ 1.4	7	1.50	26
佐賀県	6,811	39	8.3	8	△ 3.5	18	1.63	10
長崎県	10,886	27	8.0	12	△ 4.6	28	1.71	4
熊本県	14,894	19	8.4	6	△ 3.7	20	1.66	6
大分県	9,059	31	7.9	16	△ 4.5	27	1.65	7
宮崎県	8,929	32	8.2	9	△ 4.4	25	1.71	3
鹿児島県	13,688	23	8.4	7	△ 4.9	32	1.68	5
沖縄県	16,617	15	11.6	1	3.4	1	1.95	1

資料出所 *1~4 「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省 HP

調査時点又は期間 調査周期 平成28年 毎年

出生率・合計特殊出生率及び死亡率



出生数は全国第5位

「人口動態統計(確定数)の概況」及び「埼玉県の人口動態概況(確定数)」によると、平成28年の出生数は前年より1,630人減少して54,447人(男性28,111人、女性26,336人)で、全国第5位でした。出生数は、昭和48年の106,008人をピークに平成2年まで減少し続け、その後増減を繰り返しながら長期的には減少傾向が続いています。

また、出生率は7.6で、前年を0.2ポイント下回りました。出生率は、第2次ベビーブームの昭和46年及び47年の24.0以降低下を続け、平成2年には10.0を下回りました。その後は10.0を上回る程度で推移していましたが、平成9年に再び10.0を下回って以降、概ね低下傾向にあります。

自然増減率、合計特殊出生率ともに低下

自然増減率は、前年より0.4ポイント低下して△1.3となり、全国順位は前年と同じ第6位でした。これは、戦後初めてマイナスに転じた平成24年から5年連続の低下となります。合計特殊出生率も前年より0.02ポイント低下し、1.37でした。

出生率 出生数÷日本人人口×1,000

自然増減率 自然増減数(出生数－死亡数)÷日本人人口×1,000

合計特殊出生率 15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性がその年齢別出生率で一生涯の間に子供を生むとしたときの子供の数に相当します。

※表*1～4の全国値は、住所が外国の者・不詳を含みます。

※表*2～4の比率算出に用いた日本人人口は、平成28年10月1日現在の「人口推計」(総務省統計局)です。

◆ 出生率の高い市町村と低い市町村(平成28年) ◆

出生率が高い市町村	出生率	前年比	順位	出生率が低い市町村	出生率	前年比
戸田市	10.9	△0.6	1	鳩山町	3.0	△0.3
和光市	10.6	△0.3	2	小鹿野町	3.5	△0.3
朝霞市	10.0	△0.3	3	川島町	3.7	△1.2
滑川町	9.6	△0.3	4	東秩父村	3.9	0.8
志木市	9.2	0.0	5	吉見町	4.2	0.1

注)出生率は、人口千対。資料：「埼玉県の人口動態概況(確定数)」県保健医療政策課 HP

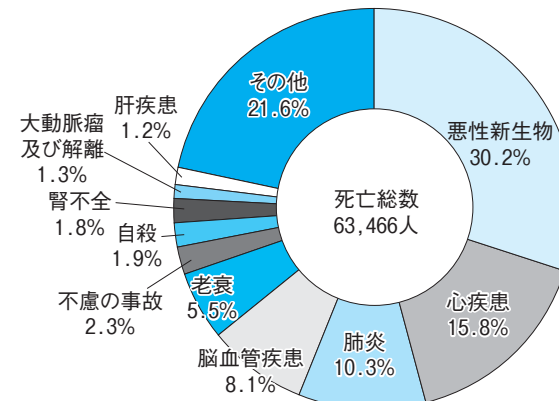
12 死亡

死因別死亡数構成比(平成28年)

単 位	*1 死亡数 (総数)		*2 死亡率 (人口千対)		*3 死亡数 (悪性新生物)		*4 死亡数 (心疾患)	
	人	順位	—	順位	人	順位	人	順位
全 国	1,307,748		10.5		372,986		198,006	
北海道	61,906	6	11.6	25	19,179	4	9,265	6
青森県	17,309	27	13.4	6	5,034	25	2,568	29
岩手県	16,959	29	13.4	5	4,521	29	2,957	26
宮城県	23,426	17	10.1	37	6,663	15	3,662	17
秋田県	15,244	30	15.1	1	4,242	30	2,098	34
山形県	15,181	31	13.7	4	4,100	32	2,325	31
福島県	24,166	16	12.8	13	6,415	16	3,944	15
茨城県	31,414	11	11.0	31	8,795	11	4,812	11
栃木県	21,436	22	11.1	30	5,849	19	3,441	20
群馬県	22,125	19	11.5	26	5,831	20	3,617	18
埼玉県	63,466	5	8.9	44	19,148	5	10,026	4
千葉県	56,396	7	9.2	41	16,798	7	9,646	5
東京都	113,415	1	8.6	46	34,017	1	16,992	1
神奈川県	77,361	3	8.6	45	23,395	3	11,284	3
新潟県	28,822	13	12.7	14	7,876	13	4,155	14
富山県	12,864	35	12.3	19	3,482	37	1,812	39
石川県	12,422	38	10.9	32	3,517	36	1,891	38
福井県	9,228	46	12.0	22	2,439	46	1,376	43
山梨県	9,565	44	11.7	24	2,467	45	1,325	46
長野県	25,110	15	12.2	20	6,351	17	3,747	16
岐阜県	22,471	18	11.3	28	6,049	18	3,477	19
静岡県	39,294	10	10.8	33	10,721	10	5,420	10
愛知県	65,227	4	8.9	43	19,087	6	8,288	8
三重県	19,830	24	11.2	29	5,219	24	2,926	27
滋賀県	12,507	37	9.0	42	3,641	34	2,015	36
京都府	25,830	14	10.1	38	7,677	14	4,382	13
大阪府	84,390	2	9.7	40	25,946	2	13,260	2
兵庫県	55,422	8	10.2	36	16,461	8	8,326	7
奈良県	14,054	33	10.4	35	4,159	31	2,522	30
和歌山県	12,619	36	13.3	8	3,329	38	2,107	33
鳥取県	7,357	47	13.0	11	2,035	47	1,102	47
島根県	9,562	45	14.0	3	2,572	43	1,357	44
岡山県	21,532	21	11.4	27	5,572	21	3,409	21
広島県	29,994	12	10.7	34	8,330	12	4,779	12
山口県	18,366	25	13.3	7	4,902	26	3,038	25
徳島県	9,855	42	13.2	10	2,478	44	1,393	42
香川県	11,908	39	12.4	18	3,022	40	1,993	37
愛媛県	17,734	26	13.0	12	4,538	28	3,183	23
高知県	10,305	41	14.4	2	2,607	42	1,757	40
福岡県	51,006	9	10.1	39	15,531	9	5,788	9
佐賀県	9,725	43	11.8	23	2,755	41	1,326	45
長崎県	17,071	28	12.6	15	4,759	27	2,570	28
熊本県	21,379	23	12.1	21	5,539	22	3,322	22
大分県	14,264	32	12.4	17	3,596	35	2,092	35
宮崎県	13,702	34	12.5	16	3,643	33	2,232	32
鹿児島県	21,610	20	13.3	9	5,451	23	3,180	24
沖縄県	11,706	40	8.2	47	3,074	39	1,670	41

資料出所 *1~4 「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省 HP

調査時点又は期間 調査周期
平成28年 毎年



資料: 「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省 HP

死亡数、死亡率ともに増加

「人口動態統計(確定数)の概況」及び「埼玉県の人口動態概況(確定数)」によると、平成28年の死亡数は前年より901人増加して、63,466人(男性34,667人、女性28,799人)で全国第5位でした。

死亡率は昭和35年から昭和55年まで低下傾向が続き、以降4.5前後で推移していましたが、昭和61年以降上昇傾向に転じています。平成28年は、前年より0.2ポイント上昇して8.9でした。

死因第1位は悪性新生物、第2位心疾患、第3位肺炎

死亡数を死因別にみると、悪性新生物が19,148人(死亡総数の30.2%)と最も多く、次いで心疾患10,026人(同15.8%)、肺炎6,543人(同10.3%)、脳血管疾患5,159人(同8.1%)、老衰3,510人(同5.5%)、不慮の事故1,455人(同2.3%)、自殺1,194人(同1.9%)、腎不全1,132人(同1.8%)、大動脈瘤及び解離840人(同1.3%)、肝疾患784人(同1.2%)の順でした。

また、年齢階級別に死因別死亡数をみると、10~30歳代は自殺、40~80歳代は悪性新生物、10歳未満及び90歳以上は心疾患が最も多くなっています。

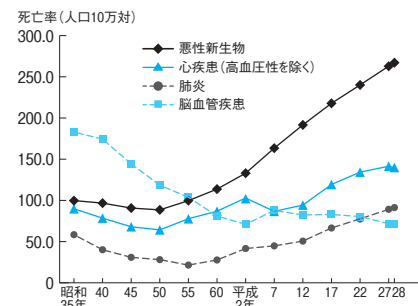
死亡率 死亡数÷日本人人口×1,000

※日本人人口は、平成28年10月1日現在の「人口推計」(総務省統計局)によるものです。

※表*1~4の「全国」には、住所が外国・不詳の者を含みます。

※表*4、グラフ及び文中の心疾患の死亡数は、高血圧性を除きます。

~主な死因別死亡率の推移~



死因別に死亡率(人口10万対)の推移をみると、悪性新生物は昭和56年以降死因順位第1位となり、上昇を続けています。心疾患は、昭和60年に脳血管疾患にかわり第2位となり、その後も緩やかな上昇を続けています。脳血管疾患は、昭和36年をピークに低下し、平成23年には肺炎にかわり第4位となっています。

注)平成7年の心疾患及び脳血管疾患の著しい変動は、死亡傾向が急激に変化したものではなく、死因分類及び死亡診断書の改正によるものと考えられます。



おしえてコバトン

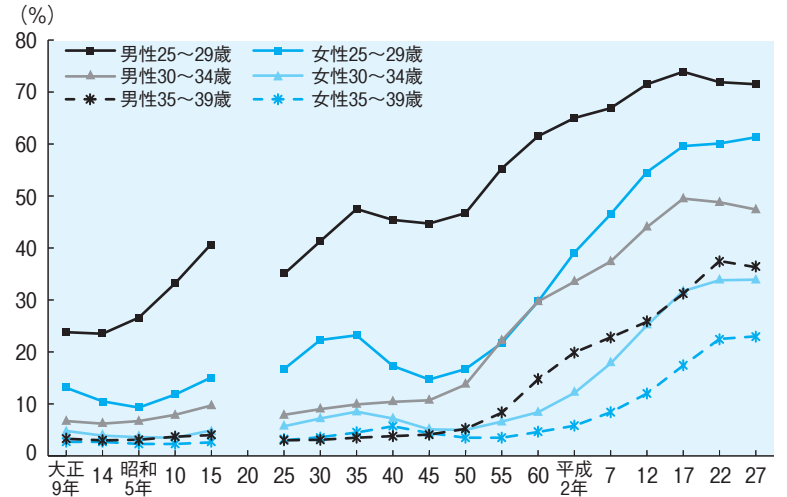
13 婚姻・離婚

年齢階級別未婚率(各年10月1日現在)

単 位	*1 婚姻率 (人口千対)		*2 離婚率 (人口千対)		*3 平均初婚年齢(夫)		*4 平均初婚年齢(妻)	
	—	順位	—	順位	歳	順位	歳	順位
	全 国	5.0		1.73		31.1		29.4
北海道	4.6	19	1.97	4	30.7	24	29.4	10
青森県	4.0	44	1.68	22	30.5	29	29.0	27
岩手県	3.9	46	1.49	40	30.6	28	28.8	38
宮城県	4.8	10	1.63	32	31.0	12	29.3	13
秋田県	3.5	47	1.38	44	30.8	20	29.2	15
山形県	3.9	45	1.37	45	30.8	20	29.1	21
福島県	4.6	22	1.73	13	30.5	29	28.7	44
茨城県	4.6	20	1.68	20	31.1	8	29.1	21
栃木県	4.8	11	1.77	9	31.1	8	29.2	15
群馬県	4.4	31	1.68	21	30.9	14	29.1	21
埼玉県	4.8	12	1.74	11	31.5	3	29.6	3
千葉県	4.8	9	1.73	14	31.4	5	29.6	3
東京都	6.5	1	1.78	7	32.3	1	30.5	1
神奈川県	5.2	6	1.74	10	31.9	2	30.0	2
新潟県	4.1	41	1.31	46	30.7	24	29.1	21
富山県	4.3	38	1.30	47	30.9	14	29.2	15
石川県	4.5	26	1.45	41	30.9	14	29.2	15
福井県	4.5	29	1.45	42	30.5	29	28.9	33
山梨県	4.5	27	1.67	24	31.5	3	29.6	3
長野県	4.4	32	1.54	38	31.3	6	29.5	7
岐阜県	4.3	33	1.54	39	30.8	20	28.8	38
静岡県	4.7	16	1.72	15	31.1	8	29.2	15
愛知県	5.6	3	1.70	19	30.9	14	29.0	27
三重県	4.6	21	1.65	30	30.7	24	28.8	38
滋賀県	4.9	7	1.58	36	30.7	24	29.0	27
京都府	4.7	15	1.65	29	31.3	6	29.6	3
大阪府	5.3	4	1.99	3	31.0	12	29.5	7
兵庫県	4.7	14	1.71	17	30.9	14	29.4	10
奈良県	4.2	40	1.62	33	31.1	8	29.5	7
和歌山県	4.3	36	1.87	6	30.5	29	28.9	33
鳥取県	4.3	34	1.66	27	30.5	29	29.0	27
島根県	4.0	43	1.39	43	30.4	35	28.7	44
岡山県	4.7	17	1.71	16	30.4	35	28.8	38
広島県	4.9	8	1.68	23	30.4	35	28.9	33
山口県	4.3	37	1.56	37	30.1	46	28.6	47
徳島県	4.3	39	1.59	35	30.4	35	29.2	15
香川県	4.8	13	1.67	25	30.4	35	28.9	33
愛媛県	4.3	35	1.64	31	30.3	40	28.9	33
高知県	4.1	42	1.71	18	30.9	14	29.4	10
福岡県	5.3	5	1.93	5	30.8	20	29.3	13
佐賀県	4.5	24	1.67	26	30.2	43	28.8	38
長崎県	4.4	30	1.60	34	30.2	43	29.0	27
熊本県	4.5	25	1.65	28	30.2	43	28.8	38
大分県	4.5	28	1.74	12	30.5	29	29.1	21
宮崎県	4.7	18	2.02	2	29.9	47	28.7	44
鹿児島県	4.6	23	1.77	8	30.3	40	29.1	21
沖縄県	5.9	2	2.59	1	30.3	40	29.0	27

資料出所 *1~4 「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省 HP

調査時点又は期間 調査周期
平成28年 毎年



注) 昭和20年は、国勢調査が実施されていない。
資料: 「国勢調査」総務省統計局 HP

婚姻件数、離婚件数ともに減少

「人口動態統計(確定数)の概況」によると、平成28年の婚姻件数は、前年より558組減少して34,199組で、婚姻率は前年より0.1ポイント低下して4.8でした。

離婚件数も、前年より186組減少して12,481組となり、離婚率は前年より0.03ポイント低下して1.74でした。

なお、平均初婚年齢は、夫が31.5歳、妻が29.6歳で、夫・妻ともに前年と同じでした。

未婚率の動き穏やかに

「国勢調査」によると、25~39歳男女の年齢階級(5歳区分)別未婚率は、どの年齢階級でも昭和50年頃から大きく上昇し始め、平成12年には25~29歳の男性の未婚率が70%を超え、平成22年には25~29歳の女性の未婚率が60%を超えました。

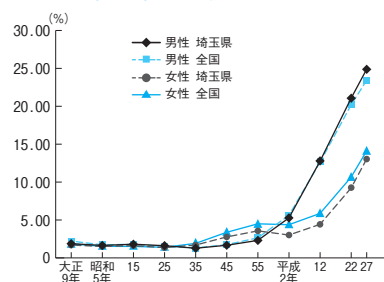
しかし、近年は上昇幅が縮小または低下傾向となるなど、穏やかな動きに転じています。

婚姻率・離婚率 婚姻(離婚)件数÷日本人人口×1,000

※日本人人口は、平成28年10月1日現在の「人口推計」(総務省統計局)によるものです。

未婚率 当該年齢(年代)の未婚者(結婚したことのない人)数÷当該年齢(年代)の総人口×100

~生涯未婚率の推移~



本県の平成27年の生涯未婚率(45~49歳と50~54歳未婚率の平均値)は、男女とも前回調査(平成22年)より3ポイント超上昇し、男性24.83%、女性12.99%でした。生涯未婚の人は、男性で約4人に1人、女性で約7.7人に1人の割合となります。

都道府県別では、男性は沖縄県(26.20%)が最も高く、岩手県(26.16%)、東京都(26.06%)と続いています。女性は東京都(19.20%)が最も高く、北海道(17.22%)、大阪府(16.50%)と続いています。

本県は、男性が全国第8位、女性が全国第24位でした。



おしえてコバトン

資料: 「人口統計資料集」国立社会保障・人口問題研究所 HP

◆国勢調査による世帯数及び人口の推移◆

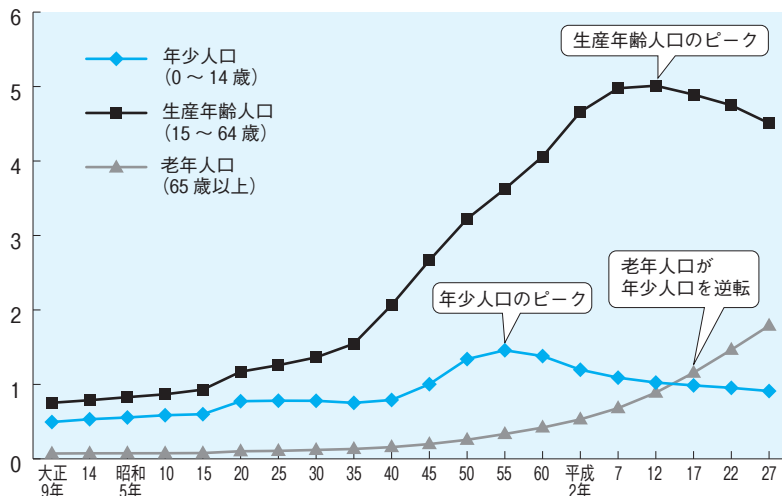
年次	世帯数	人口(人)			
		年齢区分			
		総数	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)
大正 9年	237,949	1,319,533	494,776	752,892	71,865
14	253,261	1,394,461	532,213	787,869	74,379
昭和 5年	265,465	1,459,172	555,794	828,399	74,979
10	277,548	1,528,854	586,089	867,178	75,587
15	290,509	1,607,927	599,800	929,905	78,220
20	...	2,047,261	774,175	1,170,912	102,174
25	398,779	2,146,445	781,127	1,257,941	107,205
30	423,902	2,262,623	779,877	1,362,837	119,900
35	492,731	2,430,871	752,024	1,545,841	133,006
40	696,821	3,014,983	790,961	2,066,337	157,685
45	993,079	3,866,472	1,002,863	2,665,020	198,589
50	1,323,713	4,821,340	1,340,136	3,223,138	256,014
55	1,584,655	5,420,480	1,458,421	3,624,550	333,874
60	1,751,372	5,863,678	1,380,180	4,060,573	420,099
平成 2年	2,044,234	6,405,319	1,196,946	4,660,202	530,539
7	2,289,138	6,759,311	1,090,395	4,976,945	681,172
12	2,482,374	6,938,006	1,024,787	5,011,202	889,243
17	2,650,115	7,054,243	986,361	4,892,253	1,157,006
22	2,841,595	7,194,556	953,668	4,749,108	1,464,860
27	2,971,659	7,266,534	910,805	4,507,174	1,788,735

注)1 人口の総数には、年齢「不詳」を含む年があります。

2 昭和20年は、人口調査による数値です。

資料：「国勢調査」総務省統計局 HP (各年10月1日現在、昭和20年は11月1日現在)

(百万人)



平成27年の世帯数と人口を大正9年(95年前)と比べてみると、世帯数は12.5倍、人口は5.5倍になっています。

上の表の年齢3区分別人口をそれぞれ折れ線グラフ化したものが、下のグラフです。年少人口は、昭和55年をピークに減少に転じ、平成17年には3区分の中で最少となりました。生産年齢人口も、平成12年をピークに減少し始めました。逆に老年人口は緩やかに増加していたものが、平成に入り急増し、ついに平成17年に年少人口を逆転しました。グラフをみると、少子高齢化が急速に進んでいるのがはっきりとわかります。